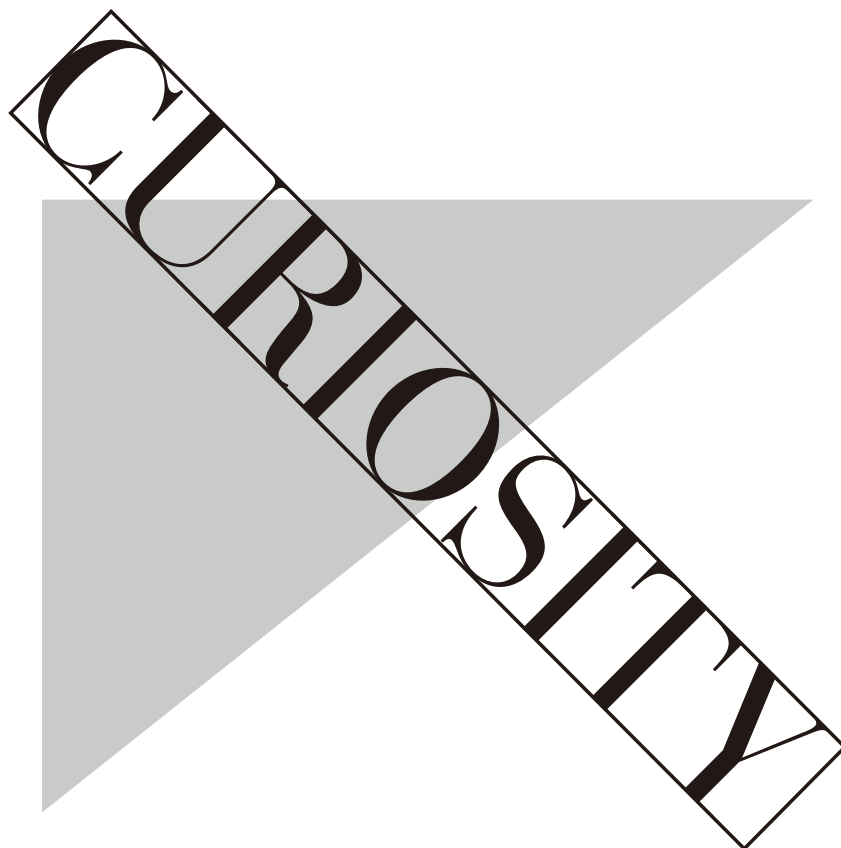


TOKYO



東京好奇心

2018 - 2020

PARIS BERLIN TOKYO

巴里、伯林、東京。三都をめぐる写真物語

東京画

DESCRIBING TOKYO SCAPES
BY 100 PHOTOGRAPHERS

協賛 | ルフトハンザ・カーゴ株式会社

コラボレーション | Tokyo Tokyo Old meets New



Lufthansa



Lufthansa Cargo

Tokyo Tokyo Old meets New

東京好奇心

2018-2020

Paris・Berlin・Tokyo



欧米人の目には、日本の文化は西洋のそれとはあらゆる意味で異なっているように映りがちです。しかし我が国の歴史を振り返ると、日本社会はその発展や生活様式の変化を迎える局面において、折々の外来文化の影響の下でゆるやかに、形成されてきました。

日本列島のほぼ中心に位置する首都、東京。独自のカルチャーを持つこの都会もその例外ではありません。多様な外的影響を受けながら、時間をかけ、現在の東京が誕生したのです。

近年、世界中から熱い視線を浴びるようになった渋谷、この街はそんな東京の本質が色濃く辿れるエリアです。多面的なその表情には、日本文化のコントラストやパラドックス、ユニークな魅力やエキゾチズムが凝縮されています。その一方で、パリやベルリンにも共通するグローバル・シティーならではの資質もしっかり備えています。

渋谷には長い歴史が紡ぎ出してきた伝統や品格と共に、多文化主義、モダニティー、さらには個性豊かなサブ・カルチャーが共存することで、常に互いに影響し合い、ここに集う人々を新たな創造へと導くダイナミックでクリエイティブな環境が存在しています。『TOKYO-GA』は、東京オリンピック・パラリンピックを控えた2018年1月、渋谷 Hikarie でのキック・オフ展を皮切りに、足掛け3年にわたる旅する展覧会『TOKYO CURIOSITY 2018-2020』をスタートしました。

SHIBUYA をテーマとする『東京好奇心 2018-2020』展は、東京のユニークな魅力と可能性を世界の方々と分かち合いながら、2018年10月のパリ、2019年4月のベルリンを経て、2020年6月(予定)に、東京に戻って参ります。皆様の暖かいご支援とご指導を賜り、写真を通じて生まれる豊かな会話を多くの人々と共に紡ぎ出してゆきたいと願っております。

太田 菜穂子

『東京画』コミッショナー / 創設者

『東京画』に寄せて

世界中のどの街にもない風景、都市の情景、垂直と水平のリズミカルなシンフォニーを奏でる東京メガロポリス。その絶妙な魅力、パワーとヴァイブレーションを「東京画」は見事に表現してくれることでしょう。

リシャルド・コラス
シャネル株式会社 代表取締役社長

おそらく未来とは、圧倒的なスケールや明解なかたちをもってではなく、ごく少しずつ、だが確実に、現在に、この現実の空間に入り込んでくるものに違いない。中でもこの未来が最も入り込みやすい場所、居つきやすい空間が東京という街なのではないだろうか。建物はそこに建っているにもかかわらず、無いようにも見え、空気のひとつの形、色、現象としての風景が存在する都市空間。僕たちは知らず知らずのうちに、毎日少しずつ未来の空気を吸い、その色に染まっていつている。「東京画」の写真を見ると、僕たちははっと気づく。こうやって優しく未来を受け入れる東京の寛大さに。そう言えば、自分が小さいころ見ていた東京の風景も、同じような優しい空気に包まれていた。写真が切り取る東京の今と未来。「東京画」、東京を応援したい僕たちにとって素晴らしい企画です。

齋藤峰明
シーナリーインターナショナル株式会社 代表／元エルメスインターナショナル 副社長

優れた感性と卓越した技術を持つ100人の写真家が、躍動する東京の多様な姿、かたち、魅力、ライフスタイルを写し取り世界に向けて発信する「東京画」。本プロジェクトは、世界を引きつけてやまない普遍的な価値となる可能性を秘めています。東京画は東京の意味を書き変える、輝く希望の光となるでしょう。

田中正人
工学博士／東京大学名誉教授

TOKYO CURIOSITY

-4 Keynotes-

IDENTITY

私たちは何者か？

自分をどのように定義し、他者にそれを認識させることができるか？

DIVERSITY

世界に共存する多様な価値や規範とどのように向き合うか？

自然環境・文化・宗教・習慣・ライフスタイル

HERE AND NOW

今、ここで生きる価値とは？

現代社会の身体感覚と調和する価値観や美意識

TIMELESSNESS

永遠に色褪せることのない精神の有り様とは？

伝統や文化を継承させる真髄

～量と質を持つての表現を目指す～

1 『TOKYO CURIOSITY by 100 photographers』

2018年1月、ヒカリエで100点の作品としてスタートした本作品はパリで200点へ、ベルリンでは300点へと増え、2020年のBunkamuraにおいては最終的に500点で構成される巨大コラージュへと発展します。

2 『The Moving Photography by TOKYO-GA』 | スライドショー

作家の作品を壁面に映写。都市毎に異なりキュレーションで、『TOKYO CURIOSITY』に同時進行するストーリーを紡ぎ出します。

3 『La Librairie Imaginaire by 100 photo books』 | 『空想の本棚』写真集の展示。

来場者はそれぞれにお気に入りの写真集のページに作家宛のメッセージを書き込みます。アナログなコミュニケーションを“一冊の本”を舞台で展開することで、“写真の多様な読み解き”を分かち合います。

4 問題提起『IDENTITY』 & 『DIVERSITY』 | アート・インスタレーション

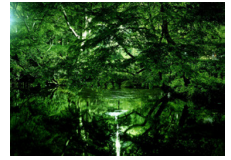
本展のコアメッセージである“アイデンティティー”と“ダイバーシティー”をその根本から考えます。
Featuring Photographers: 瀧本 幹也 (Mikiya TAKIMOTO) & 山田祐基 (Yuki YAMADA)

5 ファイン・プリントの展示 | 写真展示

“この都市で、この作品を見たい！”をテーマに選りすぐりのファイン・プリントを展示します。

6 タブロイド／カタログの出版と配布

『TOKYO CURIOSITY 2018-2020』



by TOKYO-GA participating photographers

TOKYO



Paris | パリ (フランス)

2018年10月18日～11月17日

パリ4区市庁舎 (マレ地区)



ジャポニスム 2018 と連動『東京パリ文化タンデム 2018』の公式プログラムとしての展開

| オープニングレセプション |

2018年10月18日

Salle Jean Mouly | パリ4区市庁舎内展覧会会場

2, place Baudoyer 75004 Paris

TOKYO



Berlin | ベルリン

2019年4月4日～5月14日

メイン会場 | ベルリン市庁舎



ベルリン・東京友好都市締結 25 周年記念行事

ベルリン市庁舎内

Rathausstraße 15, 10178 Berlin

TOKYO

CURIOSITY

TOKYO | 東京

2020年6月(予定)

会場 | Bunkamura ザ・ミュージアム



Bunkamura

〒150-8507 東京都渋谷区道玄坂2-24-1

TEL.03-3477-9111 (代表)

公式サイト

www.bunkamura.co.jp

| 東京画参加写真家 |

浅川敏

ジャン＝ミシェル・パール

ネイビッド・バラタイ

地藏ゆかり

レナート・ディアゴスティン

マイケル・フェザー

ステファニー・フレス

ミッシェル・フラピエ

藤井春日

ザ・ゲイズ

エマニュエル・ギヨー

蓮井幹生

平林達也

平澤賢治

広川泰士

広川智基

宝槻稔

保坂昇寿

本城直樹

石下理栄

石山貴美子

石塚元太良

伊藤計一

神宮巨樹

神村大介

叶野千晶

加藤純平

河西春奈

エヴェレット・ケネディ＝ブラウン

古賀絵里子

小島康敬

公文健太郎

栗原論

セバスチャン・ルバーク

スティーブン・リー

イルス・リーンダース

マーティン・ロイツェ

エドワード・レビンソン

牧野智晃

松永佳子

港千尋

宮原夢画

宮腰まみこ

サラ・ムーン

森田友希

クリストファー・モリス

森山大道

長崎健一

中野正貴

中島洋紀

野村佐紀子

大森克己

大西みつぐ

大和田良

オノツトム

オノデラユキ

大洲大作

セサル・オールドネス

トーマス・プリオ

ブルノ・カンケ

サトウタケヒト

下平竜矢

新谷有幹

新藤琢

ヴァンサン・スリエ

ジェレミー・ステラ

菅原一剛

鋤田正義

澄毅

田原桂一

鷹野隆大

瀧本幹也

田尾沙織

達川清

所幸則

東松照明

土田ヒロミ

ローランド・ハーゲンバーク

上田義彦

宇井眞紀子

宇壽山貴久子

ルイーズ＝クレール・ワグナー

鷲尾和彦

渡辺一城

ジェームス・ウィットロー・デラーノ

ミハエル・ウルフ

セリーン・ウー

山田祐基

ハービー・山口

山本雅美

柳本尚規

横木安良夫

ギュンター・ツォーン

| 2018年8月現在 |

東京画 | 組織

| TOKYO-GA BOARD MEMBER |

理事長・チーフ・キュレーター	太田 菜穂子	株式会社クレア・インク 代表取締役
理事	杉山 恒太郎	株式会社 ライトパブリシティ 代表取締役社長
理事	田中 正人	東京大学 名誉教授
理事	ギュンター・ツォーン	日本板硝子株式会社 社外取締役・取締役会議長

| 事務局 |

柿木原 政広	アートディレクター
山口 誠	建築家
藤木 洋介	アソシエイト・キュレーター
齋藤 サンドラ	エグゼクティブ・セクレタリー
池末 浩規	エグゼクティブ・オフィサー

| 《東京画 TOKYO CURIOSITY》 Advisory Board |

リシャル・コラス	シャネル株式会社 代表取締役社長 欧州ビジネス協会会長
アンドレアス・ドンブレット	前ドイツ連邦銀行理事 (現在、クーリング期間)
クリストフ・ジラル	パリ市 副市長
カリン・レン＝カウフマン	ライカ・インターナショナル ギャラリー・アートディレクター
松崎正年	コニカミノルタ株式会社取締役兼取締役会議長
サラ・ムーン	写真家
鈴木 秀生	外務省 地球規模課題審議官・大使
齋藤峰明	シーナリーインターナショナル 代表
カール・ハンス・フォン・ヴェアテルン	駐日ドイツ連邦共和国特命全権大使

| 東京画事務局 |

107-0054 東京都港区赤坂 8-12-25-401 KLEE INC 内

Tel: 03-5410-1277 Fax: 03-5410-1278

Mail: info@tokyo-ga.org

東京画公式サイト

www.tokyo-ga.org/top.html